

## 【小論文】

別紙、小林秀雄『戦争について』（中公文庫、2022年）中の「戦争と平和」（同書、265－268頁）を読み、設問に答えなさい。

**設問1** 「帝国海軍真珠湾爆撃」とはどのような歴史的イベントかに言及しつつ、当時の国民の多数、あるいは他の文学者がこの事件をどのように捉えていたかを略述しなさい。

**設問2** 別紙の結論部分に記されている「戦は好戦派という様な人間が居るから起るのではない。人生がもともと戦だから起るのである。」とは、どういう趣旨か。筆者がなぜそのような考えに至ったのかを踏まえて述べなさい。

**設問3** この記事が公刊された時期（1942年3月）にも注意しつつ、筆者のこのような考えに対するあなたの考えを述べなさい。

※別紙として、小林秀雄『戦争について』（中公文庫、2022年）中の「戦争と平和」（同書、265－268頁）を筆記試験時に配付しました。